

予算

目録第三四、議案第三六号

昭和四十二年度福生町福祉計画書  
市町區整理事業特別会計予算

日程第三五、議案第三七号

昭和四十二年度福生町青陽特別会計予算  
昭和四十二年度福生町水道事業会計予算

日程第三六、議案第三八号

午後九時十分閉議

一議長（中四尾蔵君）皆さんお早うございませう。

まだ寒さの厳しい折、早朝よりご出席をいただきまして、  
を厚くお礼申しあげます。

ただいまから昭和四十二年第一回福生町議会定例会を開催  
いたします。

出席議員は現在二十一名であります。さうして今日の会議は  
成立いたします。ただいまに今日の会議を開きます。

福生町議会

日程に入る前に議長からご挨拶をお願いします。

（議長石川常太郎君登壇）

一議長（石川常太郎君）本日本回は福生町議会定例会に際しましては金  
ご多忙の中のところほとんど全員の出席をいただきまして誠にありが  
とうございませう。

本日の定例会におきましては、四十二年度各会計の補正予算案、  
四十二年度予算案及び各例改正案等計二十二案件でございます。  
よろしく慎重に審議を賜うことを切にお願ひいたします。商  
単でございますが挨拶といたします。

一議長（中四尾蔵君）日程第一、会議録署名議員の指名を行います。署名  
議員の指名は会議規則第九条の規定により議長におかれ指名いたします。

七番 杉本皆雄議員  
八番 岸 茂議員

九番 大野行夫 議員

以上三名のオにお願いいいたします。 ほか署名議員は本会期中も  
アウターをお願いいたします。

一議長(伊西虎蔵君) 日曜第二会期の決定を議題に供します。

本会期よりには議会運営委員会におき、検討されておりますので  
委員長から報告願います。

(十四番高橋豊吉君登壇)

一十四番(高橋豊吉君) 一指名がありますので報告いたします。 本日  
招集された第一回定例会に先立ち、 去る三月六日午前  
十時より全員の出席をいただき、 議会運営委員会を開催し、  
会期、日曜等について慎重審議の結果、 提出議案、 付託  
要望、 諸行筆等を考慮し、 議会運営委員会とい  
ふことは二十四日までの十五日間と決定いたします。

議事日程および付託要望の案件は、 お手カヒに二配布のとおり即  
次を要望することと相なります。

条例の改正案、 ほかびに補正予算につきまゝは、 提案の  
つど理筆者から詳細にゆたり説明をいただくことにより二納得いた  
だげるものと存じます。 時に各会期の補正予算につきは人件費  
ほかの大部分を占めており、 二了解を願います。

なお、今会議は予算議会ともいわれるものであり、 従いまゝ昌興  
に市長の施政方針演説をお願いし、 一般質問の通告もありません  
ので発言時間を設けません。

以上議会運営委員会の審議状況を申し上げ、 本日の議会が  
議員各位のご理解あるご協力により、 円滑なる議会運営がござ  
ますようお願い申し上げます。 報告を終ります。

一議長(中西虎蔵君) 会期につきましては二下います委員長から報告された

とあり三月十日から三月二十四日まで、の十五日間と決定いたして  
いと思ひますが、これに二異議ありませんか

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(中西虎蔵君) 二異議なしと認め、さう決定いたしましつゝ。

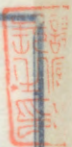
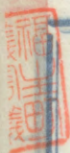
議長(中西虎蔵君) 日程第三、局長の施政方針演説、この際局長より  
施政全般の大綱につづきの説明を賜りたいと思ひますのでこれを許  
します。

(局長石川常太郎君登壇)

局長(石川常太郎君) お許しをいただきまして、施政の抱負を申し  
あげます。

本日、昭和四十二年第一回定例会に際しまして、昭和四十一年度  
における施策につづいて私の新年度への抱負を申し述べたいと思ひます。

昭和四十一年度も残り少くなく二十日あまりをもちまして昭和四十一年



度を迎へることになつたのでございしますが、地財法下、健全  
財政確立のためにあつたる財政改革の創設を受けまして、困難  
な情勢の中にもかかわらず本年度の行政執行が予想以上の成果を見  
つつ終結を目の前にしておりますことは、三万市民の福祉増進  
のため日夜努力をいたしておる議員各位のご厚情によるものと  
深く感謝を表する次第でございします。

昭和四十一年度の行政に対する私の自信でございしますが、現  
下の地方行政は生活水準の向上につれまして、年々高度化を要  
せられてきております。そのため行政需要も各面において  
増大の一途をたどつておるのが現状でございします。

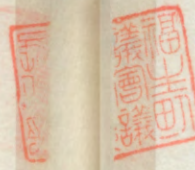
これらの行政需要の充足のための第一条件は申しあげるまでもなく  
その源泉となり、財政基盤の確立でありまして、財政需要の  
的確な把握と冗費の節減、効率的な財源充実に心がかり、



無理無駄のない合理的な財政運営をはかり、もって健全財政を基調として積極的な行政施策を推進に鋭意努力を続け、いく所存でございます。何お本会議にご提出申し上げまいに当初予算は財政再建計画に従い編成されたものであります。早期補正を前提として、暫定的ともいえます予算でございます。

従いまする当然この予算を概ね一年間全般につけてその内容を語ることはできないのでございませう。従って私から申し上げることは本月上提申し上げまいに新年度予算というよりもむしろ四十二年度は必に将来にわたる考え方を申し上げるわけでございます。

財政面を一言で申し上げますと「入るを計りまゝ出るを制する」ということでございませうので略させていたしまして、その施策



にございませう。あらまゝを申し上げたいと存じます。

財政力の許す限りいたしたいと思ひますが、項目として四つあげておきます。

- 一、教育行政の強化
- 二、都市開発の促進
- 三、環境衛生ならびに社会施設の充実
- 四、土木、交通行政の拡充

以上でございませう。ここに一言申し上げておきますことは、多くの建設事業に申しますものは着手まゝに相当の年月と準備期間を要するといふことをお含みおきのほどお願いいたします。

さて、ただいま申し上げました四つのことから今々具体的に申しあげますと、第一の教育行政の強化でございませうが、ご承知のとおり今年度第二第三第四の学校、ならびに県立学



校の改善増築、改築が行われまして児童は往々甚だ快適な環境におきまして勉強してゐるものと思っております。明四十二年度におきまして一段と計画施策を推進いたしまして第四小学校の改善増築はもとより、第三中学校の屋内体育館等を建設し、さらに将来に備えまして第五第六小学校の用地取得、また既存の第三中学校の敷地買収を、地代償を基調にせむとも実現したいと思っております。

大体二億円位かかるのは分かるかと思っております。最近  
 しほしほ新聞にぎゅっておりますところのPTAの負担軽減  
 問題も十分配慮したいと考えております。またこれは土木  
 事業、六通府金と関連があるところでございますが、通学道路の  
 整備、これは比較的道路の整備が乏しく、ない地区の通学路を  
 重点におきまして、舗装等の措置を講じたいと思っております。



その他既好の學校設備も少しづつではあります。が充足いたし  
まゝ児童は徒らにふり良い環境で、安心して勉強に励ま  
す。心かけよくつとめてございませう。

第二の都市開発の問題でございますが、これは要説いたしますと、福は駅東にの開発、福はから熊川にわたる田んぼの開発、公園整備等でございます。

つきまゝには却て新画事業といひまゝで、その根本から  
新画をゆるのかゝ女当と考へます。新年度予算に測量費のご審  
議をお願いしてゐるのをご承知いたします。

2は都立造りの基礎といひしより、又画整理を施行し、  
 将来に備えるやうにしたいとお話し中々でございます。  
 公園整備計画は柳井公園が主でございますが、  
 つきより、  
 公園整備計画は本年度に  
 公園整備計画を建設したいと思つてございませう。

長子正  
長子正  
長子正

福生町

福生町

第三環境は、はるかに民は施設の充実にござります。この  
地のように、しるしに要する経費は下支にものゝござります。  
そのほとんどが一般財源で賄はれ、るため、財政は著るしい  
影響をおぼしめております。財政的の意味だけでなく、効率的  
に、但は問題解決のため、処理場の早期改良を議員さん共々  
努力いたして、と思っております。またある程度の見通しも、  
ようは、いまいちです。また民生施設でござりますけれども、  
近頃、因等より進出により、まゝ保育園の増設が緊急事業でん  
ごいます。近時福祉法人により、まゝ二つの施設が利用する  
は、こどもと、あります。県におきまゝ、この保育園を、  
めまゝ、極力、乳児施設の需要に協力して、あたいて、あります  
第四、土木、交通行政の拡充でござります。これは、いま  
も、道路の整備、排水施設の整備、それに交通安全対策の

福生町議会

強化ということ、でござります。道路につきましては、先ほど  
申しあげ、まゝと、あります。下り、必要度の高い地区から、舗装  
を、いたして、と思っております。また排水路につきまゝ、は横田  
基、他、周辺排水路に、引き継ぎ、まして、中流排水路の、あてを、もて、あり  
ます。交通安全対策は、本年度、充足、した、はかり、で、ござります。が  
道路行政と、切り離す、ことの、でき、ない、重要な、問題、とな、て、あり  
ます。人命尊重を、叫ぶ、から、には、少く、とも、県に、おき、まゝ、  
当然、その、対策を、講じ、なければ、ならない、と、考へ、明、四、五  
年度、には、安全指導、道路標、式、案に、その、財源を、投入、したい、  
と思、つ、て、あります。以上、地財法下、その、努力を、すると、も、  
これらの、事業、お、は、ん、とか、実現、させ、たい、と思、つ、て、あります。  
さらに、その、他、多、摩、校の、全、日制の、昇格、とか、熊、川、小、川、間の、架  
橋、区、画、整、理事、業の、促進、ある、いは、水道、料、金の、値、上げ、問題

福生町議会



等々数しれない問題が山積しております。今後逐次ご協力  
をいただき、これらが一日も早く実現するように議員各位の  
ご協力をお願いするものとございます。

いろいろお聞き苦しい点があつたと思いますが、要は目的のため  
に将来を考へまゝ誠実に一日くも努力を重ねて参り  
たいと思っております。本年は選挙の年でございます。

何かと議員各位もお忙しのことと存じますが十分ご健康には  
ご留意ください。まゝ目的のためご指導くださるにかり、  
申し上げる次第でございます。簡単にございすか私の施  
政方針演説を終ります。

一議長（中西虎蔵君）以上でもう施政方針演説を終ります。

一議長（中西虎蔵君）日程第四一般質問、一般質問につゞは下沼

議員より通告されておりますので、あつ一般質問を許します。



（五番大沼秀伍君登壇）

一五番（大沼秀伍君）私の一般質問に貴重なお時間をいただき  
ましてことをまず感謝申し上げます。

私が理事者にご質問いたしますことは次の事項につゞでございます。  
四十二年度予算見込額につゞ、四十三年度歳入

見通しにつゞ、台風被害による戒免措置につゞ、加美

平田地に於ける増収の見通しにつゞ、地財法の見通しにつゞ

委員の人員補充等につゞ、今後の重点施策につゞ、

この点は下下いまいの所長の施政方針演説に承知してあるいは私  
の質問が重複するところがあるかと思ひますが、その点に關して  
は容字の省略をお願いする場合があると思ひます。

本議会は、去る三十八年、私たちが議員となつて最長の  
議会であります。願ひますと去る昭和四十年にはめれ



ゆめが予期しなかつた地財法準用という特異な地才自治体として現在にいたっております。本議会で審議されるようとする

昭和四十二年度当初予算も丁度地財法の年次計画の枠内  
で定められたものでありまして任期の最終議案を飾るにはあまり

にも、ふさわしいから内容であろうかと私は非常に遺憾に  
思うものでございます。すなわち財源があれば計画変更

の名のもとに事業をやるといふ誠につごうのよろしいものでござい  
ました。従って四十二年度の実績は良好な実効予算は財政再

建計画第五次変更後の補正予算ではないかと考へられます。  
この点は局長も言明されておられますのでございします。か

いふ意味から四十二年度地財法あけとも学校所管工事も終ら  
んとした大転換期に入らんとする今後の発展策につけて局長

の考へたを伺いたいともその基盤を固す財政の見通しにつ

いて質問いたします。

次に四十二年度決算見込につけてあります。四十二年度一

般会計の当初予算額五億九百六十七万四千円、最終補正

額が六億二千六百一十二万四千円とっておりますが、年度末まで

に入らざるうと見込まれる歳入の予想額、下らびに予算額

に近づいての見通しを説明願いたいと思ひます。

つきに四十二年度歳入見通しにつけて、先ほど申しあげま

したように四十二年度当初予算では歳入の全ぼうが把握でき

がたいてであります。すなわち後ほど審議される一般会計

の概要につけては昨年の五月に議決されました財政再建計

画は出資料にあるものでありまして現時点にマッチしない

予算内容でありますので四十二年度歳入の見通しにつけて

ご説明願いたいと思ひます。

それから、昨年の台風被害による被災措置の仲介はどれ  
ほどであったか、税の減収におりてどれほどの金額に上つたのか  
また、加美平田地の出現によりまして、今後予想される住民税に  
らべに、固定資産税の増収はどれほど見込まれるのか、税務課長  
から説明願います。

地財法の運用によつて、学校、衛生、防衛道路、基地外  
排水路等が完成しつつありますが、これらの事業計画は前  
理事長、また、前議会によつてなされておられ、その仕上げが現在  
の理事長によつて、どうなつておられます。従つて、四十二年  
度後半からこれらの財政を基盤として、今後の何れも財政は  
いかに重点政策を考へておられるのか、先ほどの説明に  
ふけると思いますが、なおこれを掘り下げ、お伺いし下りと思ひ  
ます。

つぎに地財法の見通しに、つづいてござりますが、三十九年  
度決算赤字額九千三百一十円より、地財法の運用指定  
を受け、たゞあります、が、第二年度で一千四百円を解消すべし  
と、四十七百円を解消し、赤字額の五十%以上を解消  
した実績が、あります。と、四十二年度決算におき、赤字を完全返  
済すること考へられるのでござい、ますが、その赤字返済額の見通  
しに、つづいて説明願ひたいと思ひます。もし、四十二年度に若干  
残るとしても、年度末には、ならなければ、地財法の適用が解除に  
は、ならないのか、それとも、年度内においても、指定日まで、赤  
字を解消すれば、除外されるのか、その法的な見解を、二説  
明願ひたいと思ひます。

先頃、三月七日と記憶しておりますが、自治省の発表により  
まして、地才財政の発表をしております。地才自体の財政状

況は全国的に向上してゐるが、それでも全国で二十六市町村が再建  
団体に転落して地財法の指定を受けようとし、しかも再建団体  
は全国で百一と見る見込みであり、今年度は二十六市町村  
が再建事業を完了して準禁治産者のレッテルを返上する見込  
みであると報告されております。

過去における地財法を受け下地ない其団体の中ぐ倉敷市の  
ように三度、三度と指定を受け六例もあるものであります。

当福生町におきても急激な発展にとまらう若しくは増地する  
住宅と人口増に学校、道路、下水道、その他投資的は財源の  
必要に迫まらざるを得ず、地財法の延長、または再び地財法  
の指定を受けざるを得ない事態とはいか懸念するものでありま  
す。が地財法運用に對する市長の考えをお聞きしたいと思ひ  
ます。

つぎは各委員の欠員の補充についであります。現在教育

委員一名、人権擁護委員一名、行政相談員一名が欠員とな  
つております。教育委員に關しては下比く本会議上におきま

して欠員補充の要望がされてきたのでありますが、今下にそ  
の實現をみないのてあります。教育予算の減成と新学期を

迎へての教育行政の面から、昨年九月二十六日から十月に  
わたる経過しようとしてゐるのでありますが、その間市長はどの

ような努力をほうしたのか、またその必要性を認めないのか市長の  
所信を伺ひたいと思ひます。先ほどの説明によれば教育重点

主義のようは感を得たのでありますが、こゝもやはり教育行政  
の最も必要は問題であらうかと思ひます。人権擁護委員

の減成さんがはくなりましてから六月を以てうとしてあります  
人権擁護委員は三名の構成で一人の欠員で下りう三分の一減